平成28年旭市議会第4回定例会会議録

議事日程（第5号）

平成28年12月19日（月曜日）午前10時開議

- 第 1 常任委員長報告
 - 第 2 質疑、討論、採決
 - 第 3 常任委員長陳情報告
 - 第 4 質疑、討論、採決
 - 第 5 事務報告
 - 第 6 閉 会
-

本日の会議に付した事件

- 日程第 1 常任委員長報告
 - 日程第 2 質疑、討論、採決
 - 日程第 3 常任委員長陳情報告
 - 日程第 4 質疑、討論、採決
 - 日程第 5 事務報告
 - 追加日程 議長辞職の件
 - 追加日程 議長選挙の件
 - 追加日程 副議長辞職の件
 - 追加日程 副議長選挙の件
 - 日程第 6 閉 会
-

出席議員（22名）

1 番	林 晴 道	2 番	高 橋 秀 典
3 番	米 本 弥一郎	4 番	有 田 惠 子
5 番	宮 内 保	6 番	磯 本 繁
7 番	飯 嶋 正 利	8 番	宮 澤 芳 雄
9 番	太 田 將 範	10 番	伊 藤 保

11番 島田和雄
13番 伊藤房代
15番 向後悦世
17番 滑川公英
19番 佐久間茂樹
21番 高橋利彦

12番 平野忠作
14番 林七巳
16番 景山岩三郎
18番 木内欽市
20番 林俊介
22番 林正一郎

欠席議員（なし）

説明のため出席した者

市長	明智忠直	副市長	加瀬寿一
教育長	刃田哲雄	秘書広報課長	飯島茂
行政改革 推進課長	浪川昭	総務課長	加瀬正彦
企画政策課長	横山秀喜	財政課長	伊藤憲治
税務課長	渡邊満	市民生活課長	大木廣巳
環境課長	井上保巳	保険年金課長	高木松夫
健康管理課長	浪川勝子	社会福祉課長	岩井正和
子育て 支援課長	大矢淳	高齢者 福祉課長	宮内隆
商工観光課長	向後嘉弘	農水産課長	宮負賢治
建設課長	加瀬喜弘	都市整備課長	川口裕司
下水道課長	高野和彦	会計管理者	島田知子
消防長	品村順一	水道課長	加瀬宏之
庶務課長	角田和夫	学校教育課長	石見孝男
生涯学習課長	高木昭治	体育振興課長	加瀬英志
監査委員 事務局員	高安一範	農業委員会 事務局員	相澤薫

事務局職員出席者

事務局長	阿曾博通	事務局次長	花澤義広
------	------	-------	------

開議 午前10時 0分

○議長（平野忠作） おはようございます。

ただいまの出席議員は22名、議会は成立いたしました。

これより本日の会議を開きます。

○議長（平野忠作） 議案第1号から議案第11号までの11議案を一括議題といたします。

各常任委員会に付託いたしました議案等の審査結果は、お手元に配付してありますとおりです。

配付漏れはございませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（平野忠作） 配付漏れないものと認めます。

◎日程第1 常任委員長報告

○議長（平野忠作） 日程第1、常任委員長報告。

これより各常任委員会に付託いたしました議案審査の経過と結果について、各委員長の報告を求めます。

初めに、建設経済常任委員会委員長、宮澤芳雄議員、ご登壇願います。

（建設経済常任委員長 宮澤芳雄 登壇）

○建設経済常任委員長（宮澤芳雄） おはようございます。

建設経済常任委員会委員長の報告を申し上げます。

去る12月6日の本会議において、本委員会に付託されました議案第1号、平成28年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項について、議案第3号、旭市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定についての2議案について、審査経過並びに結果を申し上げます。

去る12月13日、午前10時より、議会委員会室において、議案説明のため執行部より、副市長ほか関係課長等の出席を求め、本委員会を開催いたしました。

それでは、審査内容について、質疑とその答弁の内容を申し上げます。

初めに、議案第1号の主な質疑2点について申し上げます。

1点目として、農地集積協力金について、補助金の基準はどのようになっているのかとの質疑では、地主が貸し出す面積によって異なっており、10アール未満は5万円、10アールから1ヘクタール未満が10アール当たり5万円、1ヘクタール以上2ヘクタール以下は50万円、2ヘクタールを超えると70万円となっているとの答弁がありました。

次に、2点目として、園芸用施設災害復旧事業補助金について、補助率がかなり高い事業だが、来年度以降、国が補助しなかった場合はどうなるのかとの質疑では、市が支援するのであれば県もやるとのことだが、国の支援がない場合の対応については、現時点ではお答えできないとの答弁がありました。

次に、議案第3号の主な質疑について申し上げます。

農地最適化推進委員の地区割りと人数はどのようになるのかとの質疑では、地区については農業委員会で決定する、地区の人数割りについては定数が正式に決まった後に協議することとなるが、農地面積や認定農業者数等を考慮した上で検討していきたいとの答弁がありました。

以上、主な質疑及び答弁内容について申し上げましたが、審査の結果、別紙報告書のとおり、議案第1号は賛成多数で、議案第3号は全員賛成で、原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上のとおり報告いたします。

平成28年12月19日、建設経済常任委員長、宮澤芳雄。

○議長（平野忠作） 建設経済常任委員長の報告は終わりました。

続いて、文教福祉常任委員会委員長、伊藤房代議員、ご登壇願います。

（文教福祉常任委員長 伊藤房代 登壇）

○文教福祉常任委員長（伊藤房代） おはようございます。

文教福祉常任委員会委員長の報告を申し上げます。

去る12月6日の本会議において、本委員会に付託されました議案第1号、平成28年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項について、議案第2号、平成28年度旭市介護保険事業特別会計補正予算の議決についての2議案について、審査経過並びに結

果を申し上げます。

去る12月14日、午前10時より議会委員会室において、議案等説明のため執行部より、教育長ほか関係課長の出席を求め、本委員会を開催いたしました。

それでは、審査内容について、主な質疑とその答弁の内容を申し上げます。

初めに、議案第1号の主な質疑2点とその答弁の内容を申し上げます。

1点目として、保育士配置改善事業について、民間保育所の保育士の処遇はどのように改善されているのかとの質疑では、保育士の賃金は、平成26年度、27年度の事業などで、常勤保育士の平均年収は約370万円となり、国が想定している水準にまで改善が進んでいる、またこの処遇改善事業の対象とならない保育士については、この配置改善事業の補助制度を活用して支援していきたいとの答弁がありました。

2点目として、海上公民館の改修工事について、この時期に補正した理由と工事の完了時期はどの質疑では、海上公民館は災害時の指定避難場所に指定されているため、早期に工事を行う必要がある、また工事費の財源として緊急防災減災事業債という有利な起債があるためこの時期の補正となった、工事の完成は6月上旬を見込んでいるとの答弁がありました。

以上、主な質疑及び答弁内容について申し上げましたが、審査の結果、別紙報告書のとおり、2議案とも全員賛成で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上のとおり、報告いたします。

平成28年12月19日、文教福祉常任委員長、伊藤房代。

○議長（平野忠作） 文教福祉常任委員長の報告は終わりました。

続いて、総務常任委員会委員長、伊藤保議員、ご登壇願います。

（総務常任委員長 伊藤 保 登壇）

○総務常任委員長（伊藤 保） 総務常任委員会委員長の報告を申し上げます。

去る12月6日の本会議において、本委員会に付託されました議案第1号、平成28年度旭市一般会計補正予算の議決についてのうち本委員会所管事項について、議案第4号、旭市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例の制定について、議案第5号、旭市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第6号、旭市議会議員の議員報酬及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第7号、旭市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第8号、旭市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例附則第5項の規定によりな

おその効力を有するものとされる旧旭市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について、議案第9号、旭市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について、議案第10号、旭市税条例の一部を改正する条例の制定について、議案第11号、旭市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定についての9議案について、審査経過並びに結果を申し上げます。

去る12月15日、午前10時より議会委員会室において、議案説明のため執行部より、副市長ほか関係課長等の出席を求め、本委員会を開催いたしました。

それでは、審査内容について、主な質疑とその答弁の内容を申し上げます。

初めに、議案第4号の主な質疑2点について申し上げます。

1点目として、今後、震度6弱前後の揺れに見舞われる確率が文化の杜公園では80%を超えており、新庁舎そのものが被災を受ける可能性がある。また、海拔の低さから津波被害の可能性もあると思うが、これらの点について十分な検討はされたのかとの質疑では、震度6弱前後の揺れに見舞われる確率は、市域の大部分が60%から80%となっている。それに対する対策を十分に立てる必要があり、免震、耐震、制震などその構造について設計の中で十分に検討していく。また、津波被害については、10メートルの津波が来た場合でも浸水しないということが千葉県から示されているとの答弁がありました。

次に、2点目として、都市計画公園の変更と補助金の返還について、国・県との協議経過はどの質疑では、都市公園法第16条の規定により、文化の杜公園周辺地域に新たな公園を整備する必要がある、現庁舎跡地と防災機能を補う矢指地区の築山公園を都市公園とすることで、補助金の返還を要さない方向で協議を進めているとの答弁がありました。

以上、主な質疑及び答弁内容について申し上げましたが、審査の結果、別紙報告書のとおり、議案第4号は賛成多数で、そのほかの議案については全員賛成で、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決しました。

以上のとおり、報告いたします。

平成28年12月19日、総務常任委員長、伊藤保。

○議長（平野忠作） 総務常任委員長の報告は終わりました。

以上で付託議案に対する各委員長の報告は終わります。

◎日程第2 質疑、討論、採決

○議長（平野忠作） 日程第2、質疑、討論、採決。

これより質疑、討論、採決を行います。

ただいまの各委員長の報告に対し一括して質疑に入ります。質疑はありますか。

（「なし」の声あり）

○議長（平野忠作） 質疑なしと認めます。

これより討論に入ります。

議案第1号について討論の通告がありますので、発言を許可いたします。

滑川公英議員、ご登壇願います。

（17番 滑川公英 登壇）

○17番（滑川公英） おはようございます。17番、滑川公英。

私は、平成28年度旭市一般会計補正予算のうちの建設経済委員会にかかわる農業用施設災害復旧費、約2,424万円について反対討論いたします。

建設経済委員会の質疑までは、農業施設の8月、9月の台風で、施設を壊され、被膜を吹き飛ばされた施設園芸農家に対する補助として、県下1位の農業生産額を誇る生産者に、時宜を得た政策と感謝しておりました。被害額の最大で7割が補助金で賄われるそうです。

旭市は、10月19日に県から事務書類を受領し、回答期限は10月31日で、周知は6日間だったそうです。9件の申請で、9件の申請者の内容は、新聞で補助が出るのを知ったから、また旭市のホームページで見たからとの申請だそうです。農水課は、期間がなかったから、改めて周知をしなかったとのことなんです。なぜ、JAや共済組合に問い合わせしなかったのでしょうか。

この話には落ちがあります。県の書類には、11月中旬に再度正式な要望調査を行います、回答締め切り日は11月22日を予定しています、既に修理した場合も対象になりますと事務連絡にあります。このような内容と、議員各位も知らなかったと推測いたします。行政は、弱者救済が基本のはずだと思いますが、簡単にいうと、面倒くさいから周知しなかったとしかとれません。このような補助制度があることを知らなかった農業者が大半だと思います。

行政として、あまりにも不公平です。行政の透明性、公平、公正の見地から、担当課の怠慢、大失態、偏った補助を反省し、速やかに是正してもらいたく、今回問題提起をして反対いたしました。よろしく願いいたします。終わります。

○議長（平野忠作） 以上で通告による討論は終わりました。

議案第1号の討論を終わります。

議案第2号について、討論に入ります。

討論の通告はありません。

(「なし」の声あり)

○議長(平野忠作) 討論なしと認めます。

議案第3号について、討論に入ります。

討論の通告はありません。

(「なし」の声あり)

○議長(平野忠作) 討論なしと認めます。

議案第4号について、討論の通告がありますので発言を許可いたします。

高橋利彦議員、ご登壇願います。

(21番 高橋利彦 登壇)

○21番(高橋利彦) 21番、高橋です。

全く計画性もない、税金の全くの無駄遣い、この4号議案に対し反対討論をします。

文化の杜公園の取得に当たっては、先祖代々の貴重な財産である土地を、公園を造るなら、子どもや孫が利用するからということ、泣く泣く提供して下さった地主の方が多くいると聞いております。そして、その文化の杜公園が完成して、利用が始まったのが平成24年4月、それが1年もたたない25年2月には、庁舎建設の候補地、これではなぜ公園を造ったのか、全くの無計画きわまりありません。そして、庁舎用地に変更したときには、補助金の返還が1億1,800万円、またせっかく造った施設、6,740万円は全くの無駄、それに加えて施設の取り壊しを含めると、約2億円の税金の全くの無駄遣いであります。

これらのことを、市民、そして私を支持してくれた支援者にどのように説明するのか、私には全く説明できません。そして、全く説明のできないこの議案は、庁舎を文化の杜へ移転するための議案ですが、国・県の移転の許可がおりていないにもかかわらず、何をもってこの12月議会に議案として上程して議決を得るのか。議決というのは、許可がおりたときなどという条件付きの議決というのはありません。これは例えれば、予算の議決で、予算の額がない議決をすると全く同じことです。

数年前に、中央病院の医師マンションの建設に関し、どこにどのようなものを建てるかが決まっていなかったのに、ただ予算だけの議案が出されました。その時は否決されましたが、これはその時と全く同じです。

いずれにしても、国・県と30回もの協議をしているにもかかわらず許可が出ないということは、許可する要因が全くないことのアかしであります。そこで国・県は、その苦肉の策として住民の代表である議会の議決を求めたからだと思いますが、この議案の議決はこれだけでは済みません。代替公園の建設に当たっては、現庁舎であるこの場所への建設を確約すると同時に、建設に当たっての予算も、議会は全く関与することはできません。ただ賛成するだけの議会、つまり議会、そして議員の果たすべき役割は全くありません。そして、これは次期議員の審議、そして議決までをも奪うこととなります。私たちは、市民の代表であります。また、地域の代表でもあります。議員の皆さん方には、慎重な上にも慎重なご判断をお願いいたしまして、私の反対討論を終わります。

○議長（平野忠作） 続いて、伊藤保議員、ご登壇願います。

（10番 伊藤 保 登壇）

○10番（伊藤 保） 10番、公明党、伊藤保です。

私は、議案第4号の議決について、賛成の立場から討論をいたします。

現庁舎は建築後50年を経過しており、バリアフリーはなく、障害者、高齢者の方々にも大変な不便をかけております。合併時の耐震診断でも、震度6弱、地震波の方向では、震度6強でも倒壊または崩壊する危険性が高いとされ、東日本大震災では建物の一部に亀裂が生じた状態であります。

巨大地震がいつ起きても不思議ではないとささやかれている今日、来庁する市民と働く職員の人命と安心・安全を考えたとき、早期に建築しなければなりません。また、各課が分散している現在の状況では、市民にとって非常に分かりにくく利便性も悪いことが挙げられ、1か所で済むよう、早急に行政サービスの向上を図らなければならないと考えます。

新庁舎建設場所については、平成26年3月に制定された新庁舎建設基本構想により示された4か所の候補地からさまざまな条件を総合的に判断し、旭文化の杜公園の手前芝生部分一部を建設候補地とし、市民会議の回答が出されました。現在、千葉県と国土交通省と建設のため、調査、協議が行われております。旧旭市には都市計画がしかれておりますが、平成24年災害復興計画の中で、築山による津波避難公園を造ることが決まっています。この公園が、同じ防災設備の持つ都市公園と位置づけられ、文化の杜公園土地取得に使用したまちづくり交付金1億1,800万円は返還する必要がないとこのことを、千葉県や国土交通省との協議の中で了承をいただき、本議案を上程したものと理解しております。

政治は、20年、30年後を見通して、今どうするか考えなければなりません。近い将来、飯

岡バイパスが延伸され、銚子連絡道も東総文化会館周辺に整備され、堀之内遊正線も旧126号、八銚線まで延伸されると伺っております。旭市の発展を考えると、これ以上最適な場所はないものと考えます。なお、上水道、下水道も既に完備され、庁舎整備基金や平成37年度まで延期された合併特例債などを使い、無理のない資金計画を立てることができ、このような好条件は二度となく、新庁舎の早期完成に向けた取り組みを要望いたしまして、私の賛成討論といたします。

以上。

○議長（平野忠作） 続いて、有田恵子議員、ご登壇願います。

（4番 有田恵子 登壇）

○4番（有田恵子） 議席番号4番、有田恵子でございます。

旭市役所の位置を定める条例の一部を変える条例制定に反対いたします。その理由は、二つのことでございます。

仮に、新庁舎の位置を文化の杜にした場合、文化の杜の公園内での新庁舎設定予定地とされる1ヘクタールにつき込まれた税金、2億5,770万円は無駄になってしまいます。公園の機能がなくなってしまいます。その2億5,770万円の中には土地購入費が含まれていようがいまいが、せっかく公園として造ったものが使えなくなるというわけでありますから、全くの税金の無駄遣いとなります。この責任をとることなしに話が進んでいるところに問題があると考えております。

2億5,770万円に含まれる国庫補助金1億1,800万円の返還についてでございますが、代替公園を現庁舎敷地と矢指の築山を造ることで、返還しなくてもよくなるという話が先ほどもございましたが、これについても同様に申し上げます。返還、仮にしなくて済む場合であっても、造ってしまった一つの公園、1ヘクタールの公園は無駄になるということには違いはありません。

平成24年3月末に、あの文化の杜公園は完成いたしました。間を置かずに、眺めながら見てみますと、それを壊すという話が出ております。その上に平気で庁舎を建てようとする、その市の側の、行政の側のその神経をまず疑います。

国のまちづくり交付金、かつ都市計画法のもとで造られた文化の杜公園ですから、公園機能を、1ヘクタールでありますけれども失うことについては、交付金の返還が当然義務づけられます。返還を要しない可能性として、二つの代替公園を準備することということとなりましたが、国の財産処分の承認基準にあるということで、すんなりこの話を我々は聞かさ

れておりますけれども、しかしながら、この話に疑義がございます。

私は、国と県に確認をとりました。補助金関係、つまり新庁舎の必要性やまちづくりの交付金整備事業との整合性の話について、特に県の都市計画課と話を聞くことができました。県は国の窓口として、旭市の相談を受け付けしたということでございます。

その内容は、こういうことでございます。ただいま協議中、相談受け付け中でありまして、まだ国は結論を出していないということでございます。先ほどの討論の中で、賛成討論の中で、代替公園を二つ造って、それで返還しない、これは決まったことだ。決まっております。詰めた話にも至っていないという回答を得ております。県は交付金を出しているわけではありません。つまり、県が許可を出すことはできないということも聞いておりますが、担当官からは、国は許可を出している……、現在はまだ国がそういった話の許可というか、納得というか、承認ということは全くしていないということをお県は代弁されました。

このような中で、新庁舎の位置を定める条例の制定の議決を議会に求めること自体、間違っていると思います。これは不可能なことです。議会に議案を出すこと自体、異常事態でございます。市は、平成26年から28年にかけて2年以上、県の都市計画課に10回協議に行っております。しかしいまだに結論は出ていないとのことです。これは県の担当官の話でございます。2年かけても、県と話が煮詰まった状態ではないということでございます。議決さえとればこちらのもの。伝家の宝刀、物を言うんだと言わんばかりの、何が何でも議決を通せばいいんだと。このやり方。これは、行政、公務員のやることではないと思います。

以上が私の反対理由でございます。

○議長（平野忠作） 続いて、高橋秀典議員、ご登壇願います。

（2番 高橋秀典 登壇）

○2番（高橋秀典） おはようございます。議席番号2番、高橋秀典。

第4号議案について、賛成の立場より討論をさせていただきます。

まず、庁舎の位置決定について問いたいのは、一体誰のための庁舎であるかということがあります。建てれば50年使うことになる市の中核であります。50年という年月を想像してみてください。今を生きる市民の皆様だけではない。未来の旭市を担う次世代のための庁舎でもあるわけでありまして。子どもたちに、未来に、何を残すか、どんな旭市を託していくのが今我々に問われているわけでありまして。

耐震性もなく、老朽化した現庁舎、分散した行政機能、市民の皆さんには大きな心配とご迷惑をおかけしているわけでありまして。この現状をよしとする方は、この場におられないと

思います。新庁舎の建設が急務であり、今の私たちに託された責任であるということについては、この議場にいる誰もが同意いただけるものと思います。

候補地の選定に当たって、文化の杜公園については、建設時の補助金を返還しなければならないという点、また、代わりになる公園の面積を確保しなければならないという2点が課題として挙げられておりました。私は、この点がクリアされなければ賛成というのは難しいと考えておりました。しかし、先日行わせていただきました議案質疑において、別途復興計画に基づき、建設予定となっている築山を公園面積に充てることができ、補助金の返還が無用となる見通しが立ったという答弁でありました。であるならば、防災機能を持った公園と庁舎を一体として運用できる、また、将来的に銚子連絡道等の整備等から考えても、文化の杜公園が庁舎建設位置としてベストであると思います。

今回、この議決をもって、市としての最終的な意思表示ということになると思います。先ほどの反対討論の中で、県のほうは相談受け付け中であって結論を出していないということがありましたけれども、そもそもこの議決をもって明確な意思表示がなされるわけがありません。これが時系列的に見て筋道の通った話であると思います。

振り返ってみますと、合併協議があり、合併があり、庁舎建設が具体化しようとするその時に、あの未曾有の被害をもたらした東日本大震災の発生であります。庁舎建設よりも学校の耐震を優先すべしと、当時の執行部と議会の英断が下されました。そして、一時中断となった庁舎建設計画であります。復興への道筋が見えてきた今、さらなる災害への備えと同時に、まさに合併と復興の象徴として、新庁舎の建設を前に進めるべき時であります。

また、先日の一般質問でも述べさせていただきましたが、庁舎の建設とともに、窓口の改革、業務プロセスの見直し、組織構造の見直しなど諸改革を進めるべきであると思っています。サービス改革、ひいては市政改革を進める上で、これ以上の好機はないと申し上げたい。仮に、ここで否決とすることは、これまでの庁内会議、市民会議、市長の意思決定とそれに基づく国・県との数十回にわたる交渉が全て水泡に帰し、庁舎建設計画は大きく後退することとなり、最悪、頓挫しかねない事態となります。

そうでなくとも、執行部より発表されたタイムテーブルでは、スムーズに運んだとしても完成まで約4年、最低4年かかる話であります。今ここで後戻りしたとき、平成37年のタイムリミット、すなわち財源とする合併特例債の期限に果たして間に合うのか。まだまだ時間があるという方もいらっしゃると思いますが、仮にここで否決となれば、文化の杜公園に庁舎を建てることは現実的に難しくなるでしょう。用地の選定をゼロからするとすれば、さらにどれ

だけの日数と費用を要することになるか、また新たに用地取得が必要といったことになれば、これは全く先の見えない話になってしまう。せっかくの有利な財源を使わず、市の自前で建てざるを得ないことになった場合、それこそが無駄ではないのか。そうなったとき一体誰が責任をとるのでしょうか。

私たちには、迅速、確実に、そして財政的にも有利な形で庁舎を建てなければならない責任があります。反対のお立場の皆様も、よりよい旭市を目指そう、住みよい旭市にしようという思いは同じことと思います。そして、言いたいのは、市政の改善、改革を目指すのであれば、むしろ新庁舎建設はこれ以上のないチャンスなのであります。ここで、庁舎建設を前に進め、これからの旭市をどうするのか。過去のプロセスではなく、未来についての議論を始めようではありませんか。

今、後退か前進かが問われています。後退し、停滞するのではなく、前進し、震災以降とまってしまった時計の針を前に進めようではありませんか。真に住みやすいまち、旭市をつくっていくために、これから先、公共施設のあり方や、銚子連絡道をはじめとした道路網の整備など、まちづくりのビジョンを明確に描く必要があります。人口減、超高齢化社会に対応した新しい旭市のランドデザインを描く必要があります。庁舎建設は、まさにその中心となる事業であります。旭市復興の象徴ともなる庁舎の位置を定める旭市議会としての意思決定をもって、きょうのこの日を、次世代に誇りを持ってつなぐ、あすの旭市を築くスタート地点としようではありませんか。

以上、新庁舎建設位置を文化の杜公園とすることに賛成する立場から述べさせていただきました。

以上です。ありがとうございました。

○議長（平野忠作） 続いて、滑川公英議員、ご登壇願います。

（17番 滑川公英 登壇）

○17番（滑川公英） 17番、滑川公英。

第4号議案、市庁舎の番地を文化の杜に変更する条例、これに反対いたします。

私は、断っておきますけれども、新庁舎の建設そのものには大賛成なんです。賛成討論した方々と同じなんです。本庁舎に防災センターを設置することができず、本庁舎職員は東日本大震災並みの地震が発生するかどうか、分からないリスクの中で事務をとっていると思います。早く安全な庁舎が建てばと、皆さんが願っていると思います。

なぜ、市民会議の答申から2年近くたっての位置変更議案なのでしょう。不思議に思いま

せんか。無理があるからここまで延び延びにしてきたのではないのでしょうか。文化の杜の供用開始は24年4月、24年9月に現在地と移転案の2案の基本指針を出しております。しかるに、26年1月の基本構想では4案になりました。行政は、少なくとも10年、20年、30年後の構想までシミュレーションしているはずです。なぜ2年後くらいの景観がこんなにぶれまくっているのでしょうか。新市庁舎を文化の杜にと、少しでも計画があれば、1ヘクタール、2億5,000万円分をただの空き地にしておいて、ここも検討しますよということにしておけばよかつたんじゃないですか。

3年前に明智市長は、ここでやろうというようなことを私とほかの議員にも言っていますよ。ところが、私は反対したんですよ。ここは敷地が狭くてできないんじゃないかと。そうしたら市長は、いや、そういうことはない、現庁舎に事務をとったまま、後ろだけでできると。こういうことを言いながら、なぜ2年後になったら4案が出てきたんですか。

また、命山、旭市では矢指小学校近くに、避難のための築山事業が昨年度から開始され、都市公園にするという説明は、皆さん、去年、ありましたか。一つもないでしょう。それを、今回文化の杜公園に庁舎を建てると、その分の都市公園の弁償分の面積を築山事業で補い、なおかつ解体したこの土地を都市公園に充てると。同時に、文化の杜新庁舎建設に係る補助金を返還、1億1,000万円をなしにすると。これは、旭市に都合のいいことを国や県にお願いしているだけであって、市政報告会では、国・県との調整が調ったとの報告をしています。市政報告会に参加した市民の方々は、決定していることをなぜそんなに騒いでいるのかと言っています。いや、決定しているわけではないから議案は出てくるわけです。賛成が3分の2あれば、位置変更は成立します。2億5,000万円は、文化の杜の中に埋め込まれたままです。整備費は完全に無駄です。旭市の行政は、文化の杜公園にしろ、築山事業にしろ、泥縄行政です。そうは思わないのでしょうか。

将棋でも一手先、二手先くらいを読むのは常識のほうです。それとも、懇願され、わざわざ一手先、二手先を読まないふりをしているのでしょうか。4候補地、現在地、文化の杜、海上中跡地、消防署北側の地、文化の杜に建設をした場合にだけ2億5,000万円の税金を完全に雲散霧消するわけです。皆様、それいいですか、賛成する方々も。そんなばかなことでもいいんですか。ほかの利点はいっぱいありますよ。しかし、人口減少を境に向けて、節約できるところは節約するのが道理ではないのでしょうか。今の旭市は、税金を払うほうがさんざん苦勞して、税金で食っている方が楽をしているのではないのか、そういうふうに私は思います。

議場におります賢明なる議員の皆様方、執行の皆様方に一人でも多くのご賛同を賜りますようお願い申し上げます、反対討論といたします。

○議長（平野忠作） 続いて、宮内保議員、ご登壇願います。

（5番 宮内 保 登壇）

○5番（宮内 保） おはようございます。議席番号5番、宮内保。

私は、議案第4号について、賛成の立場から討論を行います。

新庁舎を旭文化の杜公園とするに当たっては、まず新庁舎建設市民会議をはじめ、パブリックコメント等の手続きを踏んで、またその都度議会にも説明をしていただきまして、平成26年3月に新庁舎建設基本構想が策定されました。この基本構想に示された4か所の建設候補地については、候補地ごとの長所や短所などを公表し、重ねての市民会議で議論をいただき、パブリックコメントや地区懇談会等を経て、1か所に絞り込んできたものであります。

公園区域の一部を使用することについても、都市計画の変更手続きのめどが立ち、公園整備に際して、受けた補助金の一部返納等の課題も、補助金を返済しないで済むこと、さらに、本場所は市の中心部であり、市民の利便性も高い点、現公園施設が県の広域防災拠点及び市の広域避難場所として位置づけされており、防災機能も備わっていることから、庁舎が建設されることで防災拠点としての機能が高まり、公園機能もより向上する点等を総合的に判断して、旭文化の杜公園が望ましいとされております。

本来、市役所は、市民が集い、にぎわう暮らしと文化の中心の場でなくてはならず、50年先までの持続社会の姿を予想して、市民にも喜ばれるものを造らなければなりません。この旭文化の杜公園は、時代の変化への柔軟な対応のできる場所であり、本市のシンボリックな存在となることがうかがえます。地理的条件や周辺環境、近隣施設等の利便性、また庁舎における防災機能の強化、さらには銚子連絡道路といった将来の道路ネットワークを勘案すると、旭文化の杜公園は市民にとっての利便性と一層の安堵感といったものが得られるものと考えます。

ぜひ、この旭文化の杜公園において新庁舎を早期に建設されるよう要望しまして、私の賛成討論といたします。

以上です。

○議長（平野忠作） 以上で通告による討論は終わりました。

議案第4号の討論を終わります。

議案第5号について討論に入ります。

討論の通告はありません。

(「なし」の声あり)

○議長(平野忠作) 討論なしと認めます。

ここで11時10分まで休憩いたします。

休憩 午前10時57分

再開 午前11時10分

○議長(平野忠作) 休憩前に引き続き会議を開きます。

議案第6号について討論に入ります。

討論の通告はありません。

(「なし」の声あり)

○議長(平野忠作) 討論なしと認めます。

議案第7号について討論に入ります。

討論の通告はありません。

(「なし」の声あり)

○議長(平野忠作) 討論なしと認めます。

議案第8号について討論に入ります。

討論の通告はありません。

(「なし」の声あり)

○議長(平野忠作) 討論なしと認めます。

議案第9号について討論に入ります。

討論の通告はありません。

(「なし」の声あり)

○議長(平野忠作) 討論なしと認めます。

議案第10号について討論に入ります。

討論の通告はありません。

(「なし」の声あり)

○議長(平野忠作) 討論なしと認めます。

議案第11号について討論に入ります。

討論の通告はありません。

(「なし」の声あり)

○議長(平野忠作) 討論なしと認めます。

これより議案第1号から議案第11号までの11議案について採決いたします。

議案第1号、平成28年度旭市一般会計補正予算の議決について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(平野忠作) 賛成多数。

よって、議案第1号は原案のとおり可決されました。

議案第2号、平成28年度旭市介護保険事業特別会計補正予算の議決について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(平野忠作) 全員賛成。

よって、議案第2号は原案のとおり可決されました。

議案第3号、旭市農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数に関する条例の制定について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(平野忠作) 全員賛成。

よって、議案第3号は原案のとおり可決されました。

議案第4号、旭市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例の制定については、地方自治法第4条第3項の規定により、特別多数議決を要する案件でありますので、その表決については、議員定数の半数以上の議員が出席し、その出席議員の3分の2以上の同意を必要といたします。

また、この場合は議長も表決権を有していますので、念のため申し上げます。

この採決については、林晴道議員ほか4名から記名投票によられたいとの要求がありますので、記名投票をもって行います。

準備のためそのまましばらくお待ちください。

(事務局職員、投票の準備をする)

○議長(平野忠作) 議場を閉鎖いたします。

(議場閉鎖)

○議長(平野忠作) ただいまの出席議員は22名であります。

投票箱を点検いたします。

(投票箱点検)

○議長(平野忠作) 異状ないものと認めます。

念のため申し上げます。本案に賛成の議員は白票を、反対の議員は青票を投票願います。

投票を開始いたします。

点呼を命じます。

(点呼に応じ投票)

○議長(平野忠作) 投票漏れはありますか。

(「なし」の声あり)

○議長(平野忠作) 投票漏れないものと認めます。

投票を終了いたします。

議場の閉鎖を解きます。

(議場開鎖)

○議長(平野忠作) 開票を行います。

立会人の指名をいたします。

19番、佐久間茂樹議員、20番、林俊介議員、以上の2議員を指名いたします。

佐久間茂樹議員、林俊介議員は、立会人席へご着席願います。

(立会人、立会人席へ着席)

(開 票)

○議長(平野忠作) 議案第4号……

(発言する人あり)

○議長(平野忠作) すみません、立ち会いの方はご苦労さまでした。議席へお戻りください。

すみませんでした。

(立会人、自席へ着席)

○議長(平野忠作) 議案第4号、旭市役所の位置を定める条例の一部を改正する条例の制定

については、地方自治法第4条第3項の規定により、出席議員の3分の2以上の同意を必要

といたします。

ただいまの出席議員は22名であり、3分の2以上は15名となります。

投票の結果を報告いたします。

投票総数 22票

これは先ほどの出席議員に符合いたしております。

そのうち 賛成 16票

反対 6票

以上のとおり、賛成者は3分の2以上であります。

よって、議案第4号は原案のとおり可決されました。

引き続き議案の採決を行います。

議案第5号、旭市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例の制定について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(平野忠作) 全員賛成。

よって、議案第5号は原案のとおり可決されました。

議案第6号、旭市議会議員の議員報酬及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(平野忠作) 全員賛成。

よって、議案第6号は原案のとおり可決されました。

議案第7号、旭市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(平野忠作) 全員賛成。

よって、議案第7号は原案のとおり可決されました。

議案第8号、旭市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例附則第5項の規定によりなおその効力を有するものとされる旧旭市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(平野忠作) 全員賛成。

よって、議案第8号は原案のとおり可決されました。

議案第9号、旭市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(平野忠作) 全員賛成。

よって、議案第9号は原案のとおり可決されました。

議案第10号、旭市税条例の一部を改正する条例の制定について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(平野忠作) 全員賛成。

よって、議案第10号は原案のとおり可決されました。

議案第11号、旭市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について、賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(平野忠作) 全員賛成。

よって、議案第11号は原案のとおり可決されました。

しばらくお待ちください。

◎日程第3 常任委員長陳情報告

○議長(平野忠作) 日程第3、常任委員長陳情報告。

建設経済常任委員会に付託いたしました陳情審査の経過と結果について、委員長の報告を求めます。

建設経済常任委員会委員長、宮澤芳雄議員、ご登壇願います。

(建設経済常任委員長 宮澤芳雄 登壇)

○建設経済常任委員長(宮澤芳雄) 建設経済常任委員会委員長の陳情報告を申し上げます。

去る12月6日の本会議において、本委員会に付託されました陳情第6号、旭市市道降雨による冠水被害及び畑地への砂利等の流出に関する陳情について、その審査経過並びに結果を申し上げます。

陳情審査は、12月13日、付託議案の審査終了後、担当課より本陳情の内容について詳しく

説明を受け、また現地を確認した後、直ちに審査を行いました。

審査では、「道路や排水の整備については他地区からも同様の要望が多数あり、それぞれの道路等の要望に対して、本委員会で審査するものではない。本件については、その要旨は理解できるが、担当課へ個別に要望するべきものである」との意見が出され、審査の結果、別紙報告書のとおり賛成者はなく、不採択と決しました。

以上のとおり、報告いたします。

平成28年12月19日、建設経済常任委員長、宮澤芳雄。

○議長（平野忠作） 建設経済常任委員長の報告は終わりました。

以上で付託陳情に対する委員長の報告は終わりました。

◎日程第4 質疑、討論、採決

○議長（平野忠作） 日程第4、質疑、討論、採決。

これより質疑、討論、採決を行います。

陳情第6号の委員長の報告に対し質疑に入ります。

質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（平野忠作） 質疑なしと認めます。

これより陳情第6号について討論に入ります。

討論の通告はありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（平野忠作） 討論なしと認めます。

これより陳情第6号について採決いたします。

この陳情に対する委員長の報告は不採択であります。

陳情第6号、旭市市道降雨による冠水被害及び畑地への砂利等の流出に関する陳情について、採択と決するに賛成の方の起立を求めます。

（賛成者なし）

○議長（平野忠作） 賛成者なし。

よって、陳情第6号は不採択と決しました。

◎日程第5 事務報告

○議長（平野忠作） 日程第5、事務報告。

事務報告を求めます。

総務課長、登壇してください。

（総務課長 加瀬正彦 登壇）

○総務課長（加瀬正彦） それでは、篤志寄附を受納しておりますので、ご報告申し上げます。

事務報告の書類1ページをお願いいたします。

1つ、リヤカー1台を株式会社わたしん様、株式会社千葉銀行様より、9月28日受納いたしました。

1つ、金500万円を有限会社ブライトピック千葉様より、9月30日受納いたしました。

1つ、リヤカー1台を有限会社椎名洋ラン園様、株式会社千葉銀行様より、10月27日受納いたしました。

1つ、豚肉378キログラムを農事組合法人千葉スワイン様より、11月1日受納いたしました。

1つ、金30万円を公益社団法人銚子法人会様より、11月8日受納いたしました。

1つ、山桜を干潟ライオンズクラブ様より、11月8日受納いたしました。

1つ、図書一式、電子ピアノ2台、シンセサイザー1台を岩井潤様より、11月15日受納いたしました。

1つ、大型扇風機4台を松山鋼材株式会社様より、11月22日受納いたしました。

1つ、天幕1張、体育館ステージ用階段1台を旭市ゴルフ協会様より、11月22日受納いたしました。

1つ、金10万円を旭ひふ科様より、11月25日受納いたしました。

1つ、臼・杵2組、一輪車4台、液晶プロジェクター1台、テント2張を干潟ライオンズクラブ様より、12月11日受納いたしました。

1つ、金10万円を干潟ライオンズクラブ様より、12月11日受納いたしました。

以上で事務報告を終わります。

○議長（平野忠作） 事務報告は終わりました。

ここでしばらく自席で休憩いたします。

休憩 午前11時37分

再開 午前11時39分

○副議長（島田和雄） 休憩前に引き続き会議を開きます。

◎追加日程 議長辞職の件

○副議長（島田和雄） 議長の都合により、議長に代わって議事の進行を務めますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

ただいま平野忠作議長より議長の辞職願が提出されました。

おはかりいたします。この際、議長辞職の件を日程に追加し、直ちに議題とすることにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○副議長（島田和雄） ご異議なしと認めます。

よって、議長辞職の件を日程に追加し、直ちに議題といたします。

事務局長に辞職願を代読させます。

（事務局長 阿曾博通 登壇）

○事務局長（阿曾博通） 辞職願。

このたび一身上の都合により、市議会議長を辞職したいので、許可されるよう願います。

平成28年12月19日、旭市議会議長、平野忠作。

旭市議会副議長様。

○副議長（島田和雄） おはかりいたします。平野忠作議員の議長の辞職を許可することに賛成の方の起立を求めます。

（賛成者起立）

○副議長（島田和雄） 全員賛成。

よって、平野忠作議員の議長の辞職を許可することに決しました。

ここでしばらくお待ちください。

(12番 平野忠作 入場)

○副議長(島田和雄) ここで長い間お骨折りをいただきました前議長、平野忠作議員よりご挨拶をお願いいたします。

ご登壇願います。

(12番 平野忠作 登壇)

○12番(平野忠作) 皆さん、この1年間本当にありがとうございました。

同僚の議員の皆さん、そして執行部の皆さん、皆さんの支えが何よりでございました。

私は、この1年間を今ちょっと振り返りまして、大きな出来事がきょうを含めまして幾つかありました。3月議会ですか、旭の中央病院が独立法人化という、これも50年、60年に一回あるかないかと、その議長として任に当たることができました。

そして、きょうのこの4号議案、これもしばらくはないものと思います。

そんな節目、節目にあたって、何とかきょうまで来られたことは、先ほど冒頭で申したように、本当に皆さんのご理解、ご協力のたまものだと改めて感謝しています。

この旭市は、私はこの東総地区におきましても、今度、市役所がもしここに完成したならば、もう一躍一歩、二歩も抜け出すと、このように私は思っている次第でございます。

今後は、新しい議長、副議長のもとで、皆さんが全員応援して、旭市の発展のため、また旭市の発展のために頑張っていきたいなと思いますので、どうぞよろしく願います。ありがとうございました。(拍手)

◎追加日程 議長選挙の件

○副議長(島田和雄) 平野忠作議員の議長辞職により、議長が欠員となりました。

おはかりいたします。この際、議長の選挙を日程に追加し、直ちに選挙を行いたいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○副議長(島田和雄) ご異議なしと認めます。

よって、議長の選挙を日程に追加し、直ちに選挙を行うことに決しました。

これより選挙を行います。

おはかりいたします。選挙の方法は投票によりたいと思います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○副議長(島田和雄) ご異議なしと認めます。

よって、議長の選挙は投票と決しました。

準備のため、そのまましばらくお待ちください。

(事務局職員、投票の準備をする)

○副議長(島田和雄) 議場を閉鎖いたします。

(議場閉鎖)

○副議長(島田和雄) ただいまの出席議員は22名であります。

これより投票用紙を配布いたします。

(投票用紙配布)

○副議長(島田和雄) 投票用紙の配布漏れはありますか。

(「なし」の声あり)

○副議長(島田和雄) 配布漏れないものと認めます。

投票箱を点検いたします。

(投票箱点検)

○副議長(島田和雄) 異状ないものと認めます。

投票は単記無記名であります。

点呼に応じて前へお進みいただき、投票用紙に被選挙人の氏名を記載の上、順次投票願います。

投票用紙には名字と名前を正確に記載願います。なお、名字と名前を正確に記載したもののみを有効といたします。また、名字と名前を正確に記載していないもの、白票、名字のみ、名前だけの投票は無効といたしますので、ご了解願います。

投票を開始いたします。

点呼を命じます。

(点呼に応じ投票)

○副議長(島田和雄) 投票漏れはありますか。

(「なし」の声あり)

○副議長(島田和雄) 投票漏れないものと認めます。

投票を終了いたします。

議場の閉鎖を解きます。

(議場開鎖)

○副議長(島田和雄) 開票を行います。

立会人の指名をいたします。

21番、高橋利彦議員、22番、林正一郎議員、以上の2議員を指名いたします。

高橋利彦議員、林正一郎議員は、立会人席へご着席願います。

(立会人、立会人席へ着席)

(開 票)

○副議長(島田和雄) 選挙の結果を報告いたします。

投票総数 22票

有効投票 18票

無効投票 4票です。

有効投票のうち 佐久間茂樹議員 17票

木内欽市議員 1票

以上のとおりであります。

この選挙の法定得票数は6票であります。

よって、佐久間茂樹議員が旭市議会議長に当選されました。

ただいま議長に当選されました佐久間茂樹議員が議場におられますので、会議規則第32条第2項の規定により、当選を告知いたします。

立会人の方はご苦勞さまでした。自席へお戻りください。

(立会人、自席へ着席)

○副議長(島田和雄) ただいま議長に当選されました佐久間茂樹議員より就任のご挨拶がございます。

ご登壇願います。

(19番 佐久間茂樹 登壇)

○19番(佐久間茂樹) ただいま議長に選出していただきまして、大変ありがとうございます。

名誉ある旭市議会の長と、その重責を思いますと身の震える思いがします。何よりもふなれ、未熟でございますので、皆様方のご指導、ご支援、ご協力を何とぞよろしくお願い申し

上げたいと思います。

二元代表制とはいっても、その執行権の大部分は、市長をはじめ執行側にあるわけでございます。お互い切磋琢磨し、旭市、旭市民のためによりよい方向で進んでいただけたらいいのかなど。全ては、旭市のため、旭市民のためという基本的立場を堅持しつつ、精いっぱい務めさせていただきたいと思いますので、執行部の皆さんをはじめ、何とぞよろしくお願い申し上げます。

簡単ですが、ご挨拶とさせていただきます。ありがとうございます。（拍手）

○副議長（島田和雄） ここで議長を交代いたします。

議長、佐久間茂樹議員、議長席にご着席願います。

（副議長 島田和雄 議長席退席）

（議長 佐久間茂樹 議長席着席）

○議長（佐久間茂樹） 議長を交代いたしました。

ここでしばらく自席で休憩いたします。

休憩 午後 零時 4分

再開 午後 零時 6分

○議長（佐久間茂樹） 休憩前に引き続き会議を開きます。

◎追加日程 副議長辞職の件

○議長（佐久間茂樹） ただいま島田和雄副議長より、副議長の辞職願が提出されました。

おはかりいたします。この際、副議長辞職の件を日程に追加し、直ちに議題とすることにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○議長（佐久間茂樹） ご異議なしと認めます。

よって、副議長辞職の件を日程に追加し、直ちに議題といたします。

事務局長に辞職願を代読させます。

(事務局長 阿曾博通 登壇)

○事務局長(阿曾博通) 辞職願。

このたび一身上の都合により、市議会副議長を辞職したいので、許可されるよう願います。

平成28年12月19日、旭市議会副議長、島田和雄。

旭市議会議長様。

○議長(佐久間茂樹) おはかりいたします。島田和雄議員の副議長の辞職を許可することに賛成の方の起立を求めます。

(賛成者起立)

○議長(佐久間茂樹) 全員賛成。

よって、島田和雄議員の副議長の辞職を許可することに決しました。

ここでしばらくお待ちください。

(11番 島田和雄 入場)

○議長(佐久間茂樹) ここで長い間お骨折りをいただきました前副議長、島田和雄議員よりご挨拶をお願いいたします。

ご登壇願います。

(11番 島田和雄 登壇)

○11番(島田和雄) 副議長を退任するに当たりまして、一言皆様に御礼のご挨拶を申し上げます。

1年前のこの場におきまして、平野議長ともども、正副議長ということで、皆様のご推挙をいただいたわけでございます。

それから1年間、市民の皆様の生活の向上といえますか、そういったことを念頭にしながら、議会の運営に当たったり、あるいはこの議会を代表いたしまして、多くの市民の皆様との活動を行ってまいりました。

皆様の目から見ますと、まだまだ力不足と、物足りないといったような点もあったかと思っておりますけれども、精いっぱい務めてまいりました。これも皆様方の本当にご支援、ご協力があったからこそということで、心から感謝を申し上げたいと思っております。ありがとうございました。

終わりに当たりまして、立場は違いますが、この議会議員の皆さん、それから執行部の皆さん、市長以下、大勢の皆さんがいらっしゃるわけでありまして、両者が協力をさせていただきまして、さらに住みよい旭市を目指していただくことを心からお願い申し上げます。

げまして、退任に当たりましての挨拶とさせていただきます。大変ありがとうございました。
(拍手)

◎追加日程 副議長選挙の件

○議長（佐久間茂樹） 島田和雄議員の副議長辞職により、副議長が欠員となりました。

おはかりいたします。この際、副議長の選挙を日程に追加し、直ちに選挙を行いたいと思
います。これにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

○議長（佐久間茂樹） ご異議なしと認めます。

よって、副議長の選挙を日程に追加し、直ちに選挙を行うことに決しました。

これより選挙を行います。

おはかりいたします。選挙の方法は投票によりたいと思います。これにご異議ありません
か。

(「異議なし」の声あり)

○議長（佐久間茂樹） ご異議なしと認めます。

よって、副議長の選挙は投票と決しました。

準備のため、そのまましばらくお待ちください。

(事務局職員、投票の準備をする)

○議長（佐久間茂樹） 議場を閉鎖いたします。

(議場閉鎖)

○議長（佐久間茂樹） ただいまの出席議員は22名であります。

これより投票用紙を配布します。

(投票用紙配布)

○議長（佐久間茂樹） 投票用紙の配布漏れはありませんか。

(「なし」の声あり)

○議長（佐久間茂樹） 配布漏れないものと認めます。

投票箱を点検いたします。

(投票箱点検)

○議長（佐久間茂樹） 異状ないものと認めます。

投票は単記無記名であります。

点呼に応じて前へお進みいただき、投票用紙に被選挙人の氏名を記載の上、順次投票願います。

投票用紙には名字と名前を正確に記載願います。なお、名字と名前を正確に記載したもののみを有効といたします。また、名字と名前を正確に記載していないもの、白票、名字のみ、名前だけの投票は無効といたしますので、ご了解願います。

投票を開始いたします。

点呼を命じます。

（点呼に応じ投票）

○議長（佐久間茂樹） 投票漏れはありませんか。

（「なし」の声あり）

○議長（佐久間茂樹） 投票漏れないものと認めます。

投票を終了いたします。

議場の閉鎖を解きます。

（議場開鎖）

○議長（佐久間茂樹） 開票を行います。

立会人の指名をいたします。

1 番、林晴道議員、2 番、高橋秀典議員、以上の2 議員を指名いたします。

林晴道議員、高橋秀典議員は、立会人席へご着席願います。

（立会人、立会人席へ着席）

（開 票）

○議長（佐久間茂樹） 選挙の結果を報告いたします。

投票総数 2 2 票

有効投票 1 5 票

無効投票 7 票です。

有効投票のうち 向後悦世議員 1 5 票

以上のおりであります。

この選挙の法定得票数は6 票であります。

よって、向後悦世議員が旭市議会副議長に当選されました。

ただいま副議長に当選されました向後悦世議員が議場におられますので、会議規則第32条第2項の規定により、当選を告知いたします。

立会人の方はご苦労さまでした。自席へお戻り願います。

(立会人、自席へ着席)

○議長（佐久間茂樹） ただいま副議長に当選されました向後悦世議員より就任のご挨拶がございます。

ご登壇願います。

(15番 向後悦世 登壇)

○15番（向後悦世） 副議長就任のご挨拶を一言申し上げます。

議会の皆さんには、副議長に選出していただきましたこと大変うれしく、光栄に思います。

副議長として佐久間茂樹議長を全力で支え、旭市発展と議会の皆さんの円滑な議会活動ができますよう努めていきたいと考えていますので、ご指導、ご協力のほどよろしく願いいたしまして、挨拶といたします。どうもありがとうございました。（拍手）

◎日程第6 閉 会

○議長（佐久間茂樹） それでは、以上をもちまして本定例会に提出されました議案等の審議は全部終了いたしました。

これにて平成28年旭市議会第4回定例会を閉会いたします。

長期間にわたり大変ご苦労さまでございました。

閉会 午後 零時28分

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

旭市議会 議長 佐久間 茂 樹

前議長 平 野 忠 作

前副議長 島 田 和 雄

議 員 伊 藤 保